

第71回日本公衆衛生学会総会（山口県・山口市）のまとめ

1 学会長・副学会長・顧問

名誉学会長	山本繁太郎	山口県知事
名誉顧問	渡辺 純忠	山口市長
学 会 長	原田 規章	山口大学大学院医学系 研究科環境保健医学教 授
副 学 会 長	小田 悦郎	社団法人山口県医師会 長
	渡邊 修二	山口県健康福祉部長
	大田 正之	山口市健康福祉部長
顧 問	丸本 卓哉	山口大学長
監 事	金子 大	山口県会計管理局会計 課長
	米田 純子	宇部フロンティア大学 人間健康学部長

2 開催日

平成24年10月24日（水）～26日（金）

3 開催地

山口県山口市

4 会 場

山口市民会館（〒753-0074 山口県山口市中央
2-5-1）
山口県立山口図書館（〒753-0083 山口県山口市
後河原150-1）
山口県教育会館（〒753-0072 山口県山口市大手
町2-18）
サンルート国際ホテル山口（〒753-0088 山口県
山口市河原町1-1）
クリエイティブ・スペース 赤れんが（〒
753-0088 山口県山口市河原町5-12）
他，周辺施設

5 参加者数

有料入場者数 3,137人
（うち事前登録者2,191人）

No.	都道府県	合計	%
1	北海道	72	2.30%
2	青森県	35	1.12%
3	岩手県	35	1.12%
4	宮城県	59	1.88%
5	秋田県	35	1.12%
6	山形県	19	0.61%
7	福島県	31	0.99%
8	茨城県	91	2.90%
9	栃木県	48	1.53%
10	群馬県	48	1.53%
11	埼玉県	138	4.40%
12	千葉県	105	3.35%
13	東京都	520	16.58%
14	神奈川県	171	5.45%
15	新潟県	34	1.08%
16	富山県	53	1.69%
17	石川県	18	0.57%
18	福井県	11	0.35%
19	山梨県	41	1.31%
20	長野県	27	0.86%
21	岐阜県	25	0.80%
22	静岡県	46	1.47%
23	愛知県	160	5.10%
24	三重県	35	1.12%
25	滋賀県	44	1.40%
26	京都府	91	2.90%
27	大阪府	250	7.97%
28	兵庫県	111	3.54%
29	奈良県	35	1.12%
30	和歌山県	17	0.54%
31	鳥取県	15	0.48%
32	島根県	47	1.50%
33	岡山県	74	2.36%
34	広島県	63	2.01%
35	山口県	97	3.09%
36	徳島県	17	0.54%
37	香川県	29	0.92%
38	愛媛県	31	0.99%
39	高知県	13	0.41%
40	福岡県	126	4.02%
41	佐賀県	9	0.29%
42	長崎県	38	1.21%
43	熊本県	69	2.20%
44	大分県	31	0.99%
45	宮崎県	22	0.70%
46	鹿児島県	28	0.89%
47	沖縄県	21	0.67%
48	シンガポール	1	0.03%
49	不明	1	0.03%
合 計		3137	100%

6 総会・特別行事等

〈第1日目 2012年10月24日(水)〉

学会長講演

10:00~10:40 第1会場(山口市民会館大ホール)
健康リスクへの先見的対応

座長: 笹島 茂(三重大学大学院医学系研究科)

演者: 原田 規章(山口大学大学院医学系研究科)

特別対談(市民公開)

10:50~12:10 第1会場
健康リスクへの先見的対応と科学の限界

座長: 實成 文彦(山陽学園大学)

対談者: 益川 敏英(名古屋大学素粒子宇宙起源
研究機構)

津金昌一郎(国立がん研究センター)

ランチョンセミナー1

12:20~13:20 第1会場
日本の睡眠衛生と睡眠の日
睡眠の日が制定されました: その背景と意義について

座長: 大井田 隆(日本大学医学部社会医学系公
衆衛生学分野)

演者: 高橋 清久(公益財団法人精神神経科学振
興財団)

共催: 一般社団法人日本睡眠総合検診協会

総会

13:25~14:15 第1会場

メインシンポジウム1

14:25~17:25 第1会場
健康リスクへの先見的対応と公衆衛生の課題

座長: 橋本 英樹(東京大学大学院医学系研究科)

矢野 栄二(帝京大学大学院公衆衛生学研
究科)

演者: 基調講演 リスク・科学・専門—新しい
『作法』を求めて

神里 達博(大阪大学コミュニケーション
デザイン・センター)

環境・食品リスクと公衆衛生

香山不二雄(自治医科大学医学部環境予防
医学講座)

健康リスクへの先駆的対応と公衆衛生の課
題

磯 博康(大阪大学大学院医学系研究科)

社会経済的要因と健康: 事件が起きている

現場と政策を近づける

福田 吉治(山口大学医学部地域医療推進
学講座)

「健康日本21(第2次)」から見た健康リス
クとその対応

辻 一郎(東北大学大学院医学系研究科)

ランチョンセミナー2

12:20~13:20 第2会場(山口県立図書館レク
チャールーム)

ロタウイルス胃腸炎と予防ワクチン

座長: 尾内 一信(川崎医科大学小児科)

演者: 楠原 浩一(産業医科大学小児科)

共催: ジャパンワクチン株式会社, 第一三共株式
会社

シンポジウム1

15:35~17:25 第2会場
乳幼児のアレルギー疾患への社会的対応

座長: 坂本 龍雄(山口大学大学院医学系研究科)

伊藤 浩明(あいち小児保健医療総合セン
ター)

演者: 乳幼児のアレルギー疾患の予防・治療に関
する最新情報

伊藤 浩明(あいち小児保健医療総合セン
ター)

乳幼児のアレルギー疾患への社会的対応の
現状と課題

坂本 龍雄(山口大学大学院医学系研究科)

指定発言: 行政がアレルギー予防に関して何がで
きるか? 健康診査, 相談, 指導等を
総合した取組

新平 鎮博(大阪市こども青少年局)

指定発言: 公立保育園における食物アレルギー児
への対応について

利重 孝美(宇部市健康福祉部家庭児童相
談室)

指定発言: 園における食物アレルギーに対する地
域での取り組み

松崎 博幸(まつざき小児科)

指定発言: 災害対応

伊藤 浩明(あいち小児保健医療総合セン
ター)

ランチョンセミナー3

12:20~13:20 第3会場(山口県教育会館ホール)
現代型不眠を視野に入れた不眠治療のストラテジー

座長: 兼板 佳孝(大分大学医学部公衆衛生・疫

学講座)

演者：井上 雄一 (東京医科大学睡眠学講座)

共催：武田薬品工業株式会社

招待講演

14:25~15:15 第3会場

中原中也の青春と山口

座長：柳 邦治(山口県山口健康福祉センター)

演者：福田百合子(中原中也記念館名誉館長)

シンポジウム2

15:35-17:25 第3会場

特定健診・特定保健指導の評価と今後の在り方

座長：武藤 孝司(独協医科大学医学部公衆衛生学講座)

宮崎美砂子(千葉大学大学院看護学研究科)

演者：特定健診・特定保健指導の検討事項と今後の課題

大井田 隆(日本大学医学部社会医学系公衆衛生学分野)

健康日本21(第2次)について

木村 博承(厚生労働省健康局がん対策・健康増進課)

特定保健指導の利点と課題：アウトソーシングによる大規模実施や職域からの考察

福田 洋(順天堂大学医学部総合診療科)

個人の生活背景に密着した特定保健指導をめざして

寺西 愛(岐阜県安八郡安八町役場保健センター)

<第2日目 2012年10月25日(木)>**特別講演1**

9:15~10:05 第1会場

Well-beingの追求と健康政策：歴史と21世紀の公衆衛生像を見据えて

座長：鳥帽子田彰(広島大学大学院医歯薬保健学研究院)

演者：岸・金堂玲子(北海道大学環境健康科学研究教育センター)

メインシンポジウム2

10:15~12:05 第1会場

「健康日本21(第2次)」のねらいと戦略

座長：辻 一郎(東北大学大学院医学系研究科)

佐柳 進(国立病院機構関門医療センター)

演者：健康寿命の概念と指標の算定

橋本 修二(藤田保健衛生大学医学部衛生学講座)

ライフステージを通じた健康づくりと健康格差の是正

山縣然太郎(山梨大学大学院医学工学総合研究部)

ポピュレーションアプローチとしての食環境整備の意義と課題

武見ゆかり(女子栄養大学栄養学部)

たばこ規制・対策：数値目標の根拠と目標達成のための戦略

中村 正和(大阪がん循環器病予防センター)

ランチョンセミナー4

12:15~13:15 第1会場

DPT-IPV(不活化ポリオワクチン)の円滑な導入に向けて

座長：廣田 良夫(大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学)

演者：中野 貴司(川崎医科大学小児科学)

共催：一般財団法人阪大微生物病研究会

日本学術会議・日本公衆衛生学会合同公開シンポジウム(市民公開)

13:25~15:15 第1会場

福島原発事故による放射線被ばく：今後の対策と健康管理

座長：秋葉 澄伯(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科)

那須 民江(中部大学生命健康科学部)

演者：放射性物質による環境汚染と被ばく経路

森口 祐一(東京大学大学院工学系研究科)

福島県における県民健康管理調査の概要

安村 誠司(福島県立医科大学医学部公衆衛生学講座)

東京電力福島第一原子力発電所サイト内作業者の放射線防護と健康管理

樺田 尚樹(国立保健医療科学院生活環境研究部)

放射線の健康リスクに対する現状認識とその防護の考え方

甲斐 倫明(大分県立看護科学大学)

パネルディスカッション(市民公開)

15:35~17:25 第1会場

東日本大震災における公衆衛生活動

座長：平野かよ子(東北大学大学院医学系研究科)

本橋 豊 (秋田大学副学長)

調 恒明 (山口県環境保健センター)

演者：大災害時における感染症対策と公衆衛生上の課題

押谷 仁 (東北大学大学院医学系研究科)

大災害時における保健所の活動

金谷 泰宏 (国立保健医療科学院健康危機管理研究部)

大災害時における市町村保健師の公衆衛生看護活動

宮崎美砂子 (千葉大学大学院看護学研究科)

東日本大震災における公衆衛生活動のデータベース構築と解析

坂元 昇 (川崎市健康福祉局)

笹井 康典 (大阪府枚方保健所)

尾島 俊之 (浜松医科大学健康社会医学講座)

教育講演 1

9:15~10:05 第2会場

新興感染症の出現と対応

座長：小澤 邦壽 (群馬県衛生環境研究所)

演者：渡邊 治雄 (国立感染症研究所)

地方衛生研究所研修フォーラム

10:15~12:05 第2会場

腸管出血性大腸菌アウトブレイクに学ぶ

座長：調 恒明 (山口県環境保健センター)

小澤 邦壽 (群馬県衛生環境研究所)

演者：腸管出血性大腸菌 O111 による食中毒の発生と課題

黒澤 豊 (富山県高岡厚生センター)

EHEC 食中毒アウトブレイク：砺波総合病院での対応

河合 博志 (市立砺波総合病院内科・消化器科)

富山県を中心とした腸管出血性大腸菌 O111 による食中毒の疫学調査と課題

八幡裕一郎 (国立感染症研究所)

富山県で発生した腸管出血性大腸菌食中毒における細菌学的解析と地衛研

綿引 正則 (富山県衛生研究所細菌部)

磯部 順子 (富山県衛生研究所細菌部)

木全 恵子 (富山県衛生研究所細菌部)

嶋 智子 (富山県衛生研究所細菌部)

金谷 潤一 (富山県衛生研究所細菌部)

佐多徹太郎 (富山県衛生研究所細菌部)

腸管出血性大腸菌食中毒の広域発生における地衛研の役割

ランチョンセミナー 5

12:15~13:15 第2会場

超高齢社会を支える予防戦略：肺炎球菌ワクチンとインフルエンザワクチン

座長：岩崎恵美子 (前仙台市副市長, 東京エレクトロン宮城株式会社産業医)

演者：村上 智彦 (NPO 法人ささえる医療研究所)

共催：MSD 株式会社

教育講演 4

13:25~14:15 第2会場

CDC に学ぶ健康リスク管理：米国 CDC 訪問報告

座長：遠山 千春 (東京大学大学院医学系研究科疾患生命工学センター)

演者：佐甲 隆 (桜木記念病院)

教育講演 5

14:25~15:15 第2会場

健康リスクの先見的モニタリングにおける行政統計データリンケージの意義

座長：西嶋 康浩 (厚生労働省健康局疾病対策課)

演者：笠島 茂 (三重大学大学院医学系研究科)

公衆衛生行政研修フォーラム 2

15:35~17:25 第2会場

地域保健対策検討会報告を受けての地域保健活動の方向性

座長：曾根 智史 (国立保健医療科学院)

林 謙治 (国立保健医療科学院)

演者：地域保健対策検討会報告書の含意について

林 謙治 (国立保健医療科学院)

協働をテーマとした地域保健活動：尾張旭市の取り組みから

吉田 和仁 (愛知県尾張旭市健康福祉部健康課)

地域保健対策検討会で問われた保健所のあり方

廣田 洋子 (北海道立心身障害者総合相談所)

地域保健対策検討会の報告から今後の保健師活動を考える

大場 エミ (社会福祉法人恩賜財団母子愛育会愛育推進部, 総合母子保健センター)

教育講演 2

9:15~10:05 第3会場

社会医学的に見た健康課題とその対応

座長：星 旦二（首都大学東京大学院都市システム科学域）

演者：高鳥毛敏雄（関西大学社会安全学部・社会安全研究科）

フォーラム 1

10:15~12:05 第3会場

健康課題に対する社会医学からみた今後の新しい健康支援方法

座長：星 旦二（首都大学東京大学院都市システム科学域）

櫻井 尚子（東京慈恵会医科大学大学院医学研究科）

演者：格差社会における健康の公平性の追求：国際的経験から日本への示唆を考える

松田 亮三（立命館大学産業社会学部）

社会的経済弱者を支える支援組織・団体の活動：釜ヶ崎における実践的研究

逢坂 隆子（四天王寺大学大学院人文社会学研究科）

保健的アプローチによる生活保護被保護者への自立支援

原 政代（学校法人天満学園太成学院大学看護学部）

社会的困難に長年向き合う地域における「生活の質」と多様な主体による「地域運営」

宮北 隆志（熊本学園大学社会福祉学部，熊本学園大学水俣学研究センター）

東日本大震災・大津波による複合負担と産業医・産業保健活動の役割

広瀬 俊雄（仙台錦町診療所産業医学センター）

ランチョンセミナー 6

12:15~13:15 第3会場

「かくれ不眠」の現状と支援：8万7千人調査の結果から

座長：白川修一郎（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所，睡眠評価研究機構）

演者：古賀 良彦（杏林大学医学部精神神経科）

共催：エスエス製薬株式会社

公衆衛生行政研修フォーラム 1

13:25~15:15 第3会場

自然社会環境要因に関わる健康リスクに栄養・食からどう対処するか：生活と社会環境の両者の質の向上を目指して

座長：田中 久子（女子栄養大学栄養学部）

長坂 祐二（山口県立大学副学長）

演者：東日本大震災における食のデータと支援の実際から見えてくるもの

渡部 順子（宮城県東部保健福祉事務所）

「社会的健康格差」は今後被災地で深刻化する？

熊坂 義裕（盛岡大学栄養科学部，熊坂内科医院，前宮古市長）

社会経済的要因と健康格差：格差社会からみえてくる栄養・食の課題

村山 伸子（新潟医療福祉大学大学院医療福祉学研究科）

健康日本21（第2次）での栄養・食生活の新たな枠組みからみえてくる食の特徴と課題

河野 美穂（厚生労働省健康局がん対策・健康増進課）

公衆衛生行政研修フォーラム 3

15:35~17:25 第3会場

保健師活動の再構築と社会の健康リスクへの対応

座長：村嶋 幸代（大分県立看護科学大学）

佐藤 眞一（千葉県衛生研究所）

演者：ヘルスケアの地域包括ケア化と公衆衛生看護の役割について：社会科学理論からの展望

猪飼 周平（一橋大学大学院社会学研究科）

社会の変動の中で保健師が堅持すべき事項

大木 幸子（杏林大学保健学部看護学科）

保健師活動体制の再編に期待すること

床本 恵子（宇部市健康福祉部健康推進課）

シンポジウム 3

9:15~11:05 第4会場（山口県教育会館第1研修室）

睡眠公衆衛生に関する諸問題

座長：大井田 隆（日本大学医学部社会医学系公衆衛生学分野）

兼板 佳孝（大分大学医学部公衆衛生・疫学講座）

演者：幼児の睡眠習慣とその問題

駒田 陽子（東京医科大学睡眠学講座）

井上 雄一（東京医科大学睡眠学講座）

国内の睡眠薬・向精神薬の使用状況とその臨床的問題点について

三島 和夫 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所)

睡眠呼吸障害とメタボリックシンドローム
谷川 武 (愛媛大学大学院医学系研究科)

夜勤と健康障害

兼板 佳孝 (大分大学医学部公衆衛生・疫学講座)

指定発言：日本人の睡眠習慣の疫学

井谷 修 (日本大学医学部社会医学系公衆衛生学分野)

教育講演 3

11：15～12：05 第4会場

ロコモティブシンドローム：生涯を通じた歩行機能維持のための対策

座長：増田 和茂 (公益財団法人健康・体力づくり事業財団)

演者：中村 耕三 (国立障害者リハビリテーションセンター)

奨励賞受賞講演

13：40～15：00 第4会場

公衆衛生分野におけるインフォーマル組織の活性化と協働

座長：本橋 豊 (秋田大学副学長)

演者：村山 洋史 (東京都健康長寿医療センター研究所)

シームレスなケア提供に向けた退院支援方策の開発に関する研究

座長：村嶋 幸代 (大分県立看護科学大学)

演者：永田 智子 (東京大学大学院医学系研究科)
介護における安全な訪問入浴の実施と健康関連因子としての浴槽入浴習慣に着目した研究

座長：大井田 隆 (日本大学医学部社会医学系公衆衛生学分野)

演者：早坂 信哉 (大東文化大学スポーツ・健康科学部)

医療連携における地域連携クリティカルパスの普及・推進に関する実践研究

座長：山中 朋子 (青森県中南地域県民局地域健康福祉部保健総室, 弘前保健所)

演者：大江 浩 (富山県砺波厚生センター)

健康運動指導分科会シンポジウム

15：35～17：25 第4会場

生涯を通じた歩行機能の維持をめざして：運動指導者の役割

座長：宮地 元彦 (独立行政法人国立健康・栄養研究所)

小島 光洋 (財団法人宮城県成人病予防協会)

演者：ロコモティブシンドローム対策における健康運動指導士の役割

太藻ゆみこ (メディカルフィットネス研究所, 公益財団法人日本股関節研究振興財団)

コア (体幹) から高める歩行機能

浦上 大輔 (一般財団法人日本コアコンディショニング協会)

メタボとロコモを予防する身体活動

宮地 元彦 (独立行政法人国立健康・栄養研究所)

子どもたちを将来ロコモにさせないために
武長 理栄 (笹川スポーツ財団スポーツ政策研究所)

指定発言：地域での介護予防活動の実践から

北目 衛子 (財団法人宮城県成人病予防協会)

ミニシンポジウム 1

9：15～10：35 第5会場 (山口県教育会館第2研修室)

雇用・労働環境の健康影響：要因分析から介入までを考える

座長：小林 敏生 (広島大学大学院医歯薬保健学研究院)

山本 真二 (日新製鋼(株)周南製鋼所)

演者：健康格差の要因に関する20年間の経年的分析

可知 悠子 (帝京大学医学部衛生学公衆衛生学講座)

「働きがい」格差とその決定要因：日本公務員研究

関根 道和 (富山大学)

中小規模事業所における勤労者の精神的健康状態とその関連要因

足立 安正 (元大阪府立大学大学院看護学研究科)

交代制勤務に従事する労働者の抑うつとQOL (Quality of Life) に与える影響
濱崎美津子 (聖マリア学院大学看護学部)

大規模半導体製造事業所での低コスト保健
指導用活動・睡眠データ収集分析手法の実
装性

木村 朗 (群馬パース大学大学院保健科
学研究科)

自発的な健康増進とコミュニケーションの
活性化を実現できるプログラムの実践事例
石見 一女 (株式会社 Be & Do)

ミニシンポジウム2

10:45~12:05 第5会場

栄養疫学と公衆栄養マネジメント

座長: 城野世津子 (宇部フロンティア大学短期大
学部)

佐藤 真一 (千葉県衛生研究所)

演者: 血圧が高めの健常男性における尿中 Na・K
排泄量と血圧との関係

高橋 彩夏 (福岡女子大学大学院人間環
境学研究科栄養健康科学専
攻)

血中葉酸濃度と抑うつ症状に関する前向き
研究

南里 明子 (国立国際医療研究センター臨
床研究センター疫学予防研究
部)

食品摂取の健康への影響—直接作用と協働
作用: J-HOPE データの分析から

伊藤 歩 (広島大学大学院保健学研究科)
栄養管理状況報告書からみる食事摂取基準
の活用をふまえた特定給食施設の栄養管理
状況

代々 耕治 (熊本県健康づくり推進課)

栄養管理状況報告書の改正に伴う特定給食
施設等の栄養管理業務の変化

久保 彰子 (熊本県阿蘇保健所)

千葉県における食育の推進 (第5報): 一
次計画の評価と二次計画の策定

佐藤 真一 (千葉県衛生研究所, 大阪府立
大学公衆栄養実践研究セン
ター)

ミニシンポジウム3

9:15~10:35 第6会場 (山口県教育会館 第4
研修室)

乳幼児虐待と乳幼児を持つ親のメンタルヘルス

座長: 高橋 幸広 (山口県萩健康福祉センター,
山口県長門健康福祉センター)

藤原 武男 (国立成育医療研究センター)

演者: 周産期メンタルヘルス評価と支援:
EPDS・育児支援チェックリスト分析報告
渡辺 雅子 (横浜市栄福祉保健センター)

乳幼児をもつ両親の喫煙と子どもの心身症
状との関連: 乳幼児健診データベースの分
析

横山 美江 (大阪市立大学大学院看護学研
究科)

揺さぶられ症候群 (虐待による頭部外傷) の予防に
関する研究

藤原 武男 (国立成育医療研究センター研
究所成育社会医学研究部)

一時保護所における被虐待児の歯科疾患の実
態調査

森岡 俊介 (森岡歯科医院)

保育場面での虐待ハイリスクと養育困難の
早期発見と支援

大友由紀子 (北海道名寄保健所健康推進課)

保育場面における虐待ハイリスクの早期発
見に有効な就学前スクリーニング票の活用

小銭 寿子 (名寄市立大学保健福祉学部社
会福祉学科)

ミニシンポジウム4

10:45~12:05 第6会場

青少年の健康問題とその課題

座長: 友定 保博 (山口大学教育学部保健体育講
座)

上田真寿美 (山口大学大学院医学系研究科)

演者: 12歳児のう蝕罹患状況における都道府県格
差を考える

尾崎 哲則 (日本大学歯学部医療人間科学)
わが国の青少年における危険行動の出現状
況の変化: 2001年と2011年との比較

野津 有司 (筑波大学)

青少年におけるノンアルコール飲料の摂取
と飲酒, 喫煙との関連

久保 元芳 (宇都宮大学)

男子大学生における睡眠習慣の違いからみ
た身体と精神の健康状態の評価

松本 悠貴 (久留米大学医学部環境医学講
座)

エンターテイメント・エデュケーションに
よる青少年の性の健康教育プログラムの開
発

河村 洋子 (熊本大学政策創造研究教育セ
ンター)

10代前半における体格および運動習慣が動

脈硬化に及ぼす影響

高橋 一平 (弘前大学大学院医学研究科社会医学講座)

松本 正俊 (広島大学医学部地域医療システム学講座)

GISを用いた在宅医療の現状分析と将来予測

田代 敦志 (新潟市保健衛生部)

医療と地域ケアの連携促進要素の検討

田中 康之 (日本理学療法士協会・地域保健総合推進事業研究班)

公衆衛生医師の熟達と経験学習に関する探索的研究

北川信一郎 (京都市上京保健センター)

ミニシンポジウム5

13:40~15:00 第5会場

障害・疾病と地域社会の課題

座長: 守田 孝恵 (山口大学大学院医学系研究科)

柳 尚夫 (兵庫県洲本保健所)

演者: 一般住民のランダムサンプリング調査による中年男性のメンタルヘルスと生活習慣の関連

中尾理恵子 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科)

大阪市内の高校生の飲酒, 喫煙と薬物問題に関する一考察

山内 幸織 (大阪市こころの健康センター)

小児慢性特定疾患キャリアオーバー患者の就労の現状と課題

上原 里程 (自治医科大学公衆衛生学)

消防職員のアルコール体質と関連項目との関係についての検討

細田 武伸 (鳥取大学医学部社会医学講座健康政策医学分野)

医療圏レベルでみた自殺死亡と地域特性に関する分析: 年齢階級間の比較

須賀 万智 (東京慈恵会医科大学環境保健医学講座)

中核市に所在する県保健所の精神科救急の現状と課題

阿萬 朋子 (宮崎県中央保健所)

ミニシンポジウム7

13:40~15:00 第6会場

特定健診・特定保健指導事業の評価: データベースの活用

座長: 奥田 昌之 (山口大学大学院理工学研究科)

熊川 寿郎 (国立保健医療科学院)

演者: ナショナルデータベースによる滋賀県の特定健診データ解析 (第一報): 高血圧

三浦 克之 (滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門)

ナショナルデータベースによる滋賀県の特定健診データ解析 (第二報): 脂質・血糖

宮川 尚子 (滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門)

レセプトデータ突合による特定健康診査・保健指導の評価(1)糖尿病出現率の分析

大坪 浩一 (国立保健医療科学院医療・福祉サービス研究部)

レセプトデータ突合による特定健康診査・保健指導の評価(2)医療費への効果分析

熊川 寿郎 (国立保健医療科学院医療・福祉サービス研究部)

レセプトデータ突合による特定健康診査・保健指導の評価(3)腎疾患の医療費分析

岡本 悦司 (国立保健医療科学院医療・福祉サービス研究部)

レセプトデータ突合による特定健康診査・保健指導の評価(4)糖尿病合併症とHbA1c

平塚 義宗 (国立保健医療科学院医療・福祉サービス研究部)

ミニシンポジウム6

15:10~16:30 第5会場

地域医療再生に向けた医師の確保・配置・連携を考える

座長: 恵上 博文 (山口県宇部健康福祉センター)

福田 吉治 (山口大学医学部地域医療推進学講座)

演者: 全国国公立医学部地域枠入試と医学修学資金貸与の実態について

福元 仁 (和歌山県立医科大学衛生学)

各二次医療圏における研修医の変化について: マッチング導入直後と最近の比較

江原 朗 (広島国際大学医療経営学部医療経営学科)

医師供給の不足は医師偏在を悪化させるか: 広島県と長崎県の比較研究

ミニシンポジウム8

15:10~16:30 第6会場

見直される習慣と新たな習慣

座長: 中本 稔 (島根県浜田保健所)

伊木 雅之 (近畿大学医学部公衆衛生学教

室)

演者：前高血圧および孤立性拡張期高血圧の心血管病発症におよぼす影響

有馬 久富(シドニー大学ジョージ国際保健研究所)

リスクを有する「やせグループ」を保健指導対象とする新たな選出方法(階層化)の試み

藤井 紀子(財団法人広島県地域保健医療推進機構)

佐賀県における特定健診制度を利用した慢性腎臓病(CKD)の現状分析とその対策について

宮崎 博喜(佐賀大学医学部社会医学講座環境医学分野)

社会的役割と総死亡との関連：JACC Study から

玉腰 暁子(北海道大学大学院医学研究科予防医学講座公衆衛生学分野)

笑いの頻度と糖尿病との関連についての疫学研究：CIRCS 研究

大平 哲也(大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生学)

高齢男性の新規骨折は生命予後を悪化させる：藤原京スタディ男性骨粗鬆症研究

伊木 雅之(近畿大学医学部公衆衛生学)

〈第3日目 2012年10月26日(金)〉

特別講演2

9：15～10：05 第1会場

地域特性を活かした多目的コホート研究の展開：地域のために、地域とともに

座長：川上 憲人(東京大学大学院医学系研究科)

演者：塩飽 邦憲(島根大学理事・副学長)

メインシンポジウム3

10：15～12：05 第1会場

地域における疾病予防研究と自治体の予防活動支援

座長：磯 博康(大阪大学大学院医学系研究科)

岸本 泰子(島根県出雲保健所)

演者：大阪、秋田地区での循環器疾患予防対策と疫学研究の展開

北村 明彦(大阪がん循環器病予防センター)

保健所拠点の多目的コホート研究(JPHC Study)とがん予防対策

井上真奈美(国立がん研究センターがん予防・検診研究センター)

保健所と共に歩むNIPPON DATAと循環器予防・ADL維持対策

三浦 克之(滋賀医科大学社会医学講座)

上島 弘嗣(滋賀医科大学社会医学講座)

高齢者の疫学研究と自治体の予防活動

近藤 克則(日本福祉大学健康社会研究センター)

教育講演6

9：15～10：05 第2会場

Annoyance in the community caused by building vibration

座長：榊原 久孝(名古屋大学大学院医学系研究科)

演者：Michael J. Griffin (Institute of Sound and Vibration Research, University of Southampton, Southampton, UK)

公衆衛生行政研修フォーラム4

10：15～12：05 第2会場

地域における環境測定・評価の最新動向

座長：鈴木 元(国際医療福祉大学)

平田 輝昭(福岡県保健環境研究所)

演者：低周波音による影響とその評価について

高橋 幸雄(独立行政法人労働安全衛生総合研究所)

微小粒子状物質の健康リスク：環境基準設定とその後の知見から

武林 亨(慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学)

環境放射能・食品放射能測定と低線量被曝リスク・コミュニケーション

鈴木 元(国際医療福祉大学)

生活環境中の電磁界：測定・規制・健康影響

牛山 明(国立保健医療科学院)

教育講演7

9：15～10：05 第3会場

健康影響予測評価(Health Impact Assessment：HIA)

座長：石竹 達也(久留米大学医学部環境医学講座)

演者：藤野 善久(産業医科大学公衆衛生学)

シンポジウム4

10：15～12：05 第3会場

親子保健の次なる展開：出生コホート研究の意義と

現状

座長：山縣然太朗（山梨大学大学院医学工学総合研究部）

川本 俊弘（産業医科大学産業衛生学）

演者：子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）の現状

新田 裕史（独立行政法人国立環境研究所環境健康研究センター）

小児期からの生活習慣病予防：富山出生コホート研究の概要と成果

関根 道和（富山大学大学院医学薬学研究部）

地域における母子保健事業のデータを活用した出生コホート研究：甲州プロジェクト
鈴木 孝太（山梨大学大学院医学工学総合研究部）

妊娠・子育て期の健康づくりへの展開

山本 圭子（厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課）

指定発言：沖縄県における乳幼児健診データの活用について：縦断データの利活用方法の検討

仲宗根 正（沖縄県宮古福祉保健所）

指定発言：乳幼児健診の個別データを利活用する情報システムの実用化

山崎 嘉久（あいち小児保健医療総合センター）

フォーラム2

10：15～11：45 第4会場

新型インフルエンザ等対策特別措置法をめぐって

座長：角野 文彦（滋賀県健康福祉部）

土居 弘幸（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科）

演者：基調講演 新型インフルエンザ等対策特別措置法の施行に向けて

一瀬 篤（内閣官房新型インフルエンザ等対策室）

自治体から見た新型インフルエンザ特措法の問題点

坂元 昇（川崎市健康福祉局）

新型インフルエンザ等対策特別措置法をめぐってその背景

岡部 信彦（川崎市衛生研究所）

ミニシンポジウム9

9：15～10：35 第5会場

健康寿命の延伸に向けて、介護予防10年間の歩みと

今後

座長：堤 雅恵（山口大学大学院医学系研究科）
滝川 洋子（宇部市健康福祉部）

演者：多相生命表の原理を用いた要介護高齢者数の将来推計に関する研究

小池 創一（東京大学医学部附属病院企画情報運営部）

草津町における介護予防10年間の歩みと成果(1)ねらいとプロセス評価

新開 省二（東京都健康長寿医療センター研究所社会参加と地域保健研究チーム）

草津町における介護予防10年間の歩みと成果(2)高齢者健診のインパクト

西 真理子（東京都健康長寿医療センター研究所社会参加と地域保健研究チーム）

草津町における介護予防10年間の歩みと成果(3)地域全体の健康度の推移

谷口 優（東京都健康長寿医療センター研究所社会参加と地域保健研究チーム）

草津町における介護予防10年間の歩みと成果(4)要介護認定率の推移

野藤 悠（東京都健康長寿医療センター研究所社会参加と地域保健研究チーム）

介護予防における健康格差評価尺度とその視覚化ツールの開発

近藤 尚己（東京大学大学院医学系研究科臨床疫学経済学分野）

ミニシンポジウム10

10：45～12：05 第5会場

健康づくりにおけるネットワークの重要性

座長：茶川 治樹（岩国市医療センター医師会病院）

戸ヶ里泰典（放送大学教養学部）

演者：東海市の健康づくり・生きがいづくりの全庁的な取組み第3報：事業スタート

天木 大祐（愛知県東海市健康福祉課）

ネットワークで進めるCKD対策：くまもと減塩美食の取り組みを中心に

小川真奈美（熊本市役所健康づくり推進課）
熊本市西区地区住民会議「健康さるく熊本西」における健康づくり活動

田口 崇（医療法人金澤会青磁野リハビリテーション病院）

認知症予防ヘルスプロモーション「認知症の人と踊るダンスプロジェクト」の実施と評価

三宅 眞理(関西医科大学公衆衛生学教室)
ふなばし健やかプラン21を推進する要因の分析

内田 祥子(船橋市役所国民健康保険課特定健康診査室)

5年間の集团的運動実践が地域在住高齢者の生活体力及び健康関連 QOL に及ぼす影響

柳田 昌彦(同志社大学大学院スポーツ健康科学研究科)

演者：東日本大震災後の避難所サーベイランスによる感染症の発生状況と対策に関する検討
遠藤 幸男(福島県北保健所)

岩手県久慈保健所管内の東日本大震災における栄養改善に係る取り組みについて

古舘 伸郎(岩手県久慈保健所)

東京電力福島第一原発事故における住民スクリーニング

近藤 久禎(国立病院機構災害医療センター臨床研究部)

保健医療福祉分野における東日本大震災対応での GIS 活用

高橋 邦彦(国立保健医療科学院政策技術評価研究部)

原子力発電所事故と健康リスクへの公衆衛生対応

緒方 剛(茨城県筑西保健所)

低線量放射線障害の検討：乳児および小児白血病

柳 元和(帝塚山大学現代生活学部食物栄養)

ミニシンポジウム11

9:15~10:35 第6会場

感染症対策の様々な取り組みと課題

座長：高瀬 良孝(山口県周南健康福祉センター)
調 恒明(山口県環境保健センター)

演者：病院患者および周辺水系環境から分離された緑膿菌の病原遺伝子保有と薬剤耐性について

四宮 博人(愛媛県立衛生環境研究所)

わが国のプリオン病の現状：サーベイランス結果より

中村 好一(自治医科大学公衆衛生学教室)
クオンティフェロン検査における自施設作製コントロールを用いた内部精度管理の試み

西北 歳彦(大阪市保健衛生検査所)

愛媛県 A 保健所管内における日本紅斑熱の多発要因の分析と啓発活動の効果の検討

富田 直明(愛媛県南予地方局健康福祉環境部(宇和島保健所))

宮崎県中央保健所における特定感染症検査受検者の動向

長谷川久美子(宮崎県中央保健所)

NPO 連携による HIV 対策に関する地方公共団体向けの質問票調査

嶋田 憲司(特定非営利活動法人動くゲイとレズビアンの会(アカー))

ミニシンポジウム12

10:45~12:05 第6会場

東日本大震災後の公衆衛生活動と関連研究

座長：石丸 泰隆(山口県岩国健康福祉センター)

中尾 建生(山口県山口健康福祉センター防府支所)

7 一般演題

一般演題数 合計1,557件

ミニシンポジウム		演題数	分科会	分科会名	演題数
ミニシンポ1	雇用・労働環境の健康影響～要因分析から介入までを考える	6	第1分科会	疫学・保健医療情報	43
ミニシンポ2	栄養疫学と公衆栄養マネジメント	6	第2分科会	ヘルスプロモーション	70
ミニシンポ3	乳幼児虐待と乳幼児を持つ親のメンタルヘルス	6	第3分科会	生活習慣病・メタボリックシンドローム	176
ミニシンポ4	青少年の健康問題とその課題	6	第4分科会	保健行動・健康教育	82
ミニシンポ5	障害・疾病と地域社会の課題	6	第5分科会	親子保健・学校保健	168
ミニシンポ6	地域医療再生に向けた医師の確保・配置・連携を考える	6	第6分科会	高齢者のQOLと介護予防	167
ミニシンポ7	特定健診・特定保健指導事業の評価ーデータベースの活用	6	第7分科会	高齢者の医療と福祉	77
ミニシンポ8	見直される習慣と新たな習慣	6	第8分科会	地域社会と健康	68
ミニシンポ9	健康寿命の延伸に向けて、介護予防10年間の歩みと今後	6	第9分科会	難病・障害の医療と福祉	36
ミニシンポ10	健康づくりにおけるネットワークの重要性	6	第10分科会	精神保健福祉	64
ミニシンポ11	感染症対策の様々な取り組みと課題	6	第11分科会	口腔保健	27
ミニシンポ12	東日本大震災後の公衆衛生活動と関連研究	6	第12分科会	感染症	65
	合 計	72	第13分科会	健康危機管理	79
			第14分科会	医療制度・医療政策	39
			第15分科会	公衆衛生従事者育成	77
			第16分科会	保健所・衛生行政・地域保健	57
			第17分科会	公衆栄養	51
			第18分科会	健康運動指導	31
			第19分科会	食品衛生・薬事衛生	20
			第20分科会	産業保健	41
			第21分科会	環境保健	28
			第22分科会	国際保健	19
			合 計		1,485

8 各プログラム参加人数（概数）

第1日目 2012年10月24日（水）

会場	プログラム	演 題 等	参加者概数
第1会場	学会長講演	健康リスクへの先見的対応	630名
	特別対談（市民公開）	健康リスクへの先見的対応と科学の限界	780名
	ランチョンセミナー1	日本の睡眠衛生と睡眠の日 睡眠の日が制定されました：その背景と意義について	321名
	総会		110名
	メインシンポジウム1	健康リスクへの先見的対応と公衆衛生の課題	230名
第2会場	ランチョンセミナー2	ロタウイルス胃腸炎と予防ワクチン	200名
	シンポジウム1	乳幼児のアレルギー疾患への社会的対応	100名
第3会場	ランチョンセミナー3	現代型不眠を視野に入れた不眠治療のストラテジー	240名
	招待講演	中原中也の青春と山口	190名
	シンポジウム2	特定健診・特定保健指導の評価と今後の在り方	235名

第2日目 2012年10月25日（木）

会場	プログラム	演 題 等	参加者概数
第1会場	特別講演1	Well-being と健康政策：歴史と21世紀の公衆衛生像を見据えて	240名
	メインシンポジウム2	「健康日本21（第2次）」のねらいと戦力	365名
	ランチョンセミナー4	DPT-IPV（不活性化ポリオワクチン）の円滑な導入に向けて	280名
	日本学術会議・日本公衆衛生学会 合同公開シンポジウム（市民公開）	福島原発事故による放射線被ばく—今後の対策と健康管理	180名
	パネルディスカッション（市民公開）	東日本大震災における公衆衛生活動	170名
第2会場	教育講演1	新興感染症の出現と対応	100名
	地方衛生研修所研修フォーラム	腸管出血性大腸菌アウトブレイクに学ぶ	80名
	ランチョンセミナー5	超高齢化社会を支える予防戦略：肺炎球菌ワクチンとインフルエンザワクチン	260名
	教育講演4	CDC に学ぶ健康リスク管理—米国 CDC 訪問報告	120名
	教育講演5	健康リスクの先見的モニタリングにおける行政統計データリンケージの意義	130名
	公衆衛生行政研修フォーラム2	地域保健対策検討会報告を受けての地域保健活動の方向性	100名
第3会場	教育講演2	社会医学的に見た健康課題とその対応と学会の役割	110名
	フォーラム1	健康課題に対する社会医学からみた今後の新しい健康支援方法	165名
	ランチョンセミナー6	「かくれ不眠」の現状と支援：8万7千人調査の結果から	285名
	公衆衛生行政研修フォーラム1	自然社会環境要因に関わる健康リスクに栄養・食からどう対処するか—生活と社会環境の両者の質の向上を目指して	180名
	公衆衛生行政研修フォーラム3	保健師活動の再構築と社会の健康リスクへの対応	205名

会場	プログラム	演 題 等	参加者概数
第4会場	シンポジウム3	睡眠公衆衛生に関する諸問題	105名
	教育講演3	ロコモティブシンドローム：生涯を通じた歩行機能維持のための対策	104名
	奨励賞受賞講演		107名
	健康運動指導分科会シンポジウム	生涯を通じた歩行機能の維持をめざして運動指導者の役割	120名
第5会場	ミニシンポジウム1	雇用・労働環境の健康影響：要因分析から介入までを考える	64名
	ミニシンポジウム2	栄養疫学と公衆栄養マネジメント	61名
	ミニシンポジウム5	障害・疾病と地域社会の課題	57名
	ミニシンポジウム6	地域医療再生に向けた医師の確保・配置・連携を考える	65名
第6会場	ミニシンポジウム3	乳幼児虐待と乳幼児を所持親のメンタルヘルス	100名
	ミニシンポジウム4	青少年の健康問題とその課題	60名
	ミニシンポジウム7	特定健診・特定保健指導事業の評価：データベースの活用	100名
	ミニシンポジウム8	見直される習慣と新たな習慣	100名

第3日目 2012年10月26日（金）

会場	プログラム	演 題 等	参加者概数
第1会場	特別講演2	地域特性を生かした多目的コホート研究の展開—地域のため、地域とともに	130名
	メインシンポジウム3	地域における疾病予防研究と自治体の予防活動支援	152名
第2会場	教育講演6	Annoyance in the community caused by building vibration	50名
	公衆衛生行政研修フォーラム4	地域における環境測定・評価の最新動向	35名
第3会場	教育講演7	健康影響予測評価（Health Impact Assessment：HIA）	115名
	シンポジウム4	親子保健の次なる展開 出生コホート研究の意義と現状	140名
第4会場	フォーラム2	新型インフルエンザ等 対策特別措置法をめぐって	105名
第5会場	ミニシンポジウム9	健康寿命の延伸に向けて、介護予防10年間の歩みと今後	100名
	ミニシンポジウム10	健康づくりにおけるネットワークの重要性	70名
第6会場	ミニシンポジウム11	感染症対策の様々な取り組みと課題	70名
	ミニシンポジウム12	東日本大震災後の公衆衛生活動と関連研究	70名

9 自由集会

10月24日（水）

番号	集 会 名	人数	会 場	参加者数
1	結核の集団発生対策に関する集会	100	山口県教育会館 5F 第一研修室	95名
2	第15回レセプト情報の活用を考える自由集会	30	山口県教育会館 5F 第三研修室	47名
3	日本公衆衛生看護を語ろう：保健師（わたし）の思いをみんなの思いに	50	山口県教育会館 3F 第四研修室	35名
4	共生・共感のパワーを活用するコミュニティ・エンパワメント	40	山口県教育会館 5F 第二研修室	32名
5	全国衛生行政研究会セミナー	40	カリエンテ山口 第1研修室	30名
6	周産期メンタルヘルス評価と支援のありかた	30	サンフレッシュ山口 会議研修室	5名
7	「住まいと健康」フォーラム：肢体不自由児の在宅生活・在宅環境を考える	30	カリエンテ山口 第2研修室	17名
8	WHOヘルスプロモーションを推進する会	30	山口県教育会館 3F 会議室 I	10名
9	前向き子育てプログラム：その理論と実践	30	中市コミュニティホール Nac 会議室 B	13名
10	「健康づくりと運動」自由集会	100	中市コミュニティホール Nac 多目的ホール B	45名
11	第5回公衆衛生・公衆栄養分野における管理栄養士の活動を考える会	30	中市コミュニティホール Nac 多目的ホール A	32名
12	健康生成論とストレス対処力 SOC に関する学習・研究交流集会 (第6回)	40	ゆ〜あいプラザ山口県 社会福祉会館第一会議室	33名
13	第21回多胎児を産み育てる家庭への保健サービスのあり方を考える集会 Part1	50	中市コミュニティホール Nac 会議室 A	7名
14	乳幼児虐待予防に向けたホームスタートと保健師との協働・連携	20	カリエンテ山口会議室	
15	笑い与健康に関する情報交換及び笑いのエクササイズの体験	30	男女共同参画センター 第一講座室	15名
16	地域医療連携・地域医療再生を考える自由集会	40	サンフレッシュ山口 視聴覚室	30名
17	全国いきいき公衆衛生の会	150	ゆ〜あいプラザ山口県 社会福祉会館大ホール	48名

10月25日 (木)

番号	集 会 名	人数	会 場	参加者数
18	住民からの暴言暴力から身を守る：「防衛的公衆衛生」に陥らないために	40	山口県労働者福祉文化中央会館第一会議室	15名
19	地域がん登録を知ろう・使おう：がん対策の推進に向けて	30	山口県教育会館 5F 第三研修室	16名
20	“地域の力”（ソーシャル・キャピタル）と健康：最新の知見と実際の保健医療行政への応用	50	山口県教育会館 5F 第二研修室	41名
21	日本 HIA 研究会	30	山口県教育会館 3F 会議室 I	15名
22	公衆衛生ねっと	100	山口県教育会館 5F 第一研修室	50名
23	住民，行政，NPO が協働した子育て支援の取り組みを通して住民参画型地域づくりを考える	30	カリエンテ山口 第 2 研修室	20名
24	危機管理時の栄養及び食生活の支援について：行政管理栄養士の派遣支援体制について	40	カリエンテ山口 第 1 研修室	34名
25	世代間交流によるコミュニティ再生を考える会Ⅲ：世代間交流の効果をいかに測定するか	50	カリエンテ山口 第 4 研修室	27名
26	公衆衛生と危機管理第 9 回大規模自然災害におけるイニシャルアセスメントとインシデントコマンドシステムの活用	20	カリエンテ山口会議室	11名
27	感染症情報の現状と展望を考える会	50	ゆ〜あいプラザ山口県社会福祉会館大ホール	31名
28	孤立予防：住民が住民を支えるしくみ（戸建て団地モデル）の波及方法を探る	30	中市コミュニティホール Nac 会議室 B	30名
29	低線量被曝と健康被害を考える集い	100	中市コミュニティホール Nac 多目的ホール B	30名
30	第21回多胎児を産み育てる家庭への保健サービスのあり方を考える集会 Part2	30	サンフレッシュ山口 視聴覚室	30名
31	第 5 回法医公衆衛生学研究会	30	中市コミュニティホール Nac 会議室 A	18名
32	知ろう・語ろう・考えよう！“一歩先行く”健やか親子21 第12回：市町村規模別にみる発達障害児の支援体制について	30	男女共同参画センター 第一講座室	50名
33	口腔保健の現状等の分析について	50	山口県教育会館 3F 第四研修室	37名
34	ユニバーサルデザインとしての公衆衛生	30	ゆ〜あいプラザ山口県社会福祉会館第一会議室	4名
35	喫煙対策自由集会	40	ゆ〜あいプラザ山口県社会福祉会館第二会議室	34名
36	第 3 回若葉保健師からのメッセージ：語る保健師には縁来る	30	サンフレッシュ山口 会議研修室	27名
37	保健師魂と公衆衛生活動（住民とともに活動する保健師の会）	60	中市コミュニティホール Nac 多目的ホール A	35名

10 ブース

展示

〈紹介ブース（一般展示）〉

- | | |
|------------------------------------|-------------------------------|
| 1 特定非営利活動法人 子宮頸がんを考える市民の会 | 13 山梨大学大学院医学工学総合研究部 社会医学講座 |
| 2 特定非営利活動法人 地域がん登録全国協議会 | 14 (株)プリメドジャパン |
| 3 帝京大学公衆衛生学研究室（専門職大学院） | 15 大阪大学大学院医学系研究科附属ツインリサーチセンター |
| 4 公益社団法人結核予防会 結核研究所 | 16 特定非営利活動法人 ウェルビーイング |
| 5 東京医療保健大学 | 17 前向き子育てプログラム |
| 6 大分県立看護科学大学 健康増進プロジェクト | 18 国立保健医療科学院 |
| 7 東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 | 19 一般社団法人全国保健師教育機関協議会 |
| 8 日本疫学会 | 20 一般社団法人電気安全環境研究所 電磁界情報センター |
| 9 熊本学園大学水俣学研究センター | 21 有効性評価に基づくがん検診ガイドライン |
| 10 公益社団法人地域医療振興協会 ヘルスプロモーション研究センター | 22 公益財団法人健康・体力づくり事業財団 |
| 11 東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻（公衆衛生大学） | 23 株式会社コスモサウンド |
| 12 一般社団法人 日本家族計画協会 | 24 株式会社社会保険出版社 |

〈紹介ブース（企画展示）〉

- | | |
|----------------|------------------|
| 1 北海道根室・中標津保健所 | 3 特定非営利活動法人 ADMS |
| 2 市原市保健センター | 4 東京都港区みなと保健所 |

〈機器展示〉

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1 (株)メルシー | 7 (株)両備システムズ |
| 2 (株)VIP グローバル | 8 花王(株) |
| 3 (株)ヤマト | 9 パナソニックヘルスケア(株) |
| 4 (株)健康日本総合研究所 | 10 武田薬品工業(株) |
| 5 (株)いわさき | 11 宝通商(株) |
| 6 日本ピーシージー製造(株) | 12 一般社団法人 日本睡眠総合健診協会 |

〈書籍展示〉

- | | |
|--------------|-------------|
| 1 (株)井上書店 | 3 (株)東京法規出版 |
| 2 (株)ニホン・ミック | |

飲料提供

- | | |
|--------------------------|------------------------------|
| 1 株式会社明治（代理店：株式会社グラムスリー） | 2 ネスレ日本株式会社 ネスレヘルスサイエンスカンパニー |
|--------------------------|------------------------------|

11 付随行事

行 事 名	日 程		会 場
	月 日	時 間	
【関連行事】			
日本公衆衛生学会理事会	10月23日(火)	10:00~12:00	サンルート国際ホテル山口ガーデンパレス
日本公衆衛生学会評議員会	10月23日(火)	13:00~14:30	サンルート国際ホテル山口クリスタル
日本公衆衛生雑誌拡大編集委員会	10月24日(水)	12:20~13:20	山口県教育会館第1研修室
公衆衛生活動の遂行能力向上セミナー	10月26日(金)	13:00~17:00	山口県教育会館第1研修室
自由集会	10月24日(水) 10月25日(木)	18:00~20:00	山口県教育会館, ゆ〜あいプラザ, 中市コミュニティセンター, 男女共同参画センター, カリエンテ山口, サンフレッシュ山口, 山口県労働者福祉文化中央会館
【付随行事】			
衛生学公衆衛生学教育協議会総会	10月23日(火)	15:00~18:00	サンルート国際ホテル山口クリスタル
全国衛生部長会議			
役員会	10月23日(火)	11:00~12:00	ホテルかめ福
総会	10月23日(火)	13:00~17:00	ホテルかめ福
情報交換会	10月23日(火)	18:00~	ホテルニュータナカ平安の間
平成24年度政令市保健所長会連絡協議会・全国保健所長会政令市部会総会	10月22日(月)	10:00~12:00	下関グランドホテル飛翔の間
平成24年度全国政令市衛生部局長会			
総会	10月22日(月)	14:00~16:20	下関グランドホテル飛翔の間
会長表彰式	10月22日(月)	16:30~17:00	下関グランドホテル望潮の間
情報交換会	10月22日(月)	18:30~	天白ひらこしふく楽舎
全国保健所長会			
第69回総会	10月23日(火)	10:00~12:25	ホテル松政 芙蓉の間
研究事業報告	10月23日(火)	13:30~14:10	ホテル松政 芙蓉の間
会員協議	10月23日(火)	14:20~17:00	ホテル松政 芙蓉の間
意見交換会	10月23日(火)	17:30~19:30	ホテル松政 長州の間
地方衛生研究所全国協議会			
第63回総会	10月23日(火)	13:30~17:00	ホテルニュータナカ平安の間
情報交換会	10月23日(火)	17:30~19:30	ホテルニュータナカ
全国精神保健福祉センター長会 同研究協議会			
理事会	10月23日(火)	11:00~12:00	翠山荘フリージア
センター長会議	10月23日(火)	13:00~14:45	翠山荘カトレア
研究協議会	10月23日(火)	14:55~17:00	翠山荘カトレア
意見交換会	10月23日(火)	17:30~19:00	翠山荘カトレア
研究協議会	10月24日(水)	9:10~16:15	翠山荘カトレア
全国保健統計協議会			
役員会	10月23日(火)	11:10~11:30	ホテルかめ福寿
総会	10月23日(火)	13:00~16:00	ホテルかめ福紅梅 3
全国保健師教育機関協議会			
理事会	10月23日(火)	午前	セントコア山口
秋季研修会	10月23日(火)	14:00~17:40	セントコア山口
懇親会	10月23日(火)	18:00~20:00	セントコア山口

12 第71回日本公衆衛生学会総会収支決算

〈収入〉

(単位：円)

科 目	決算額	内 訳
1 負担金収入	12,423,000	
都道府県市負担金	4,923,000	47都道府県, 20政令指定都市 (定額)
公衆衛生学会負担金	3,000,000	日本公衆衛生学会
開催地分担金	4,500,000	山口県300万円, 山口市150万円
2 抄録集売上収入	24,805,500	
事前予約販売	16,402,500	2,187件 (@7,500円)
当日販売	7,576,000	947件 (@8,000円)
通信販売	88,000	11件 (@8,000円)
送料	739,000	1478件 (@500円)
3 演題申込金収入	4,671,000	1,557件 (@3,000円)
4 諸収入	12,088,611	
寄付金収入	2,366,300	20件
広告料収入	420,000	2件 (@105,000円), 4件 (@52,500円)
機器展示	3,727,500	17件 (@210,000円), 机貸し3件 (@52,500円)
一般展示	546,000	26件 (@21,000円)
書籍展示	75,728	2件 (売上の5%)
ランチョン共催金収入	4,830,000	4件 (@840,000円), 2件 (@735,000円)
意見交換会収入	120,000	60人 (@2,000円)
雑収入	3,083	利息
合 計	53,988,111	

〈支出〉

(単位：円)

科 目	決算額	内 訳
1 事前準備費	15,959,094	
事務局費	3,416,875	事務局人件費, 連絡調整費
会議費・主催者交通費等	458,474	実行委員会, 打合せ会議
前回総会視察・プロモーション経費	413,090	秋田総会視察費
ホームページ作成費	325,500	Web作成・更新, サーバー使用料
演題登録・参加登録関連費	986,895	システム構築費
通信運搬費	1,267,248	発送代
印刷・制作費	8,974,502	封筒, 抄録集, 参加証
その他雑費	116,510	郵便振替加入者負担金
2 当日運営費	26,530,906	
会場関連費	3,181,591	会場使用料, 付帯設備料
当日運営人件費	5,955,600	ディレクター・スタッフ人件費
音響・映像関連機材	6,451,410	プロジェクター, PC
看板・展示・備品関連費	6,815,288	看板, 展示小間, ポスターパネル
託児所手配	283,500	
聴覚障害者用サービス	241,500	
運営交通・宿泊・昼食費	1,001,870	ディレクター, スタッフ, 主催者
シャトルバス	1,003,500	
会議用備品費	1,596,647	記念品, 文具
3 招請費	1,897,623	謝金, 宿泊費
4 意見交換会費用	960,320	参加74人
5 事後処理費	1,267,617	
6 運業者委託管理費	3,478,210	
7 日本公衆衛生学会返還金	3,894,341	
合 計	53,988,111	